

最近の完成工事から

～南加賀地域と金沢地域を結ぶ物流支援道路～ 加賀海浜産業道路(白山市徳光町～小川町間)4車線化事業完成

石川県石川土木総合事務所

1 はじめに

加賀海浜産業道路は、ものづくり企業が集積する加賀地域と全国の重要港湾の中でもトップクラスのコンテナ取扱量を誇る金沢港とを結ぶ海側の新たな南北幹線として、極めて重要な道路であります。

また、北陸自動車道のインターチェンジが近接することから、沿線には多くの工業団地が立地するなど、産業・物流を支える重要な道路となっています。

しかしながら、工業団地への企業立地が進んだことにより、大型の輸送車が増加し、朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が発生していたことから、県では、円滑な交通を確保するため、4車線化を進めてきたところであり、白山市徳光町から小川町間2.2kmの区間については、平成22年度から4車線化事業に着手し、昨年12月10日に4車線供用しました。

(図 1)



図 - 1 広域図

2 事業概要

路線名：主要地方道金沢美川小松線
(加賀海浜産業道路)

事業箇所：白山市徳光町～小川町 地内

延長：L=2.2km

道路区分：第3種第2級

幅員：W=13.0 (21.0～23.0) m



図 - 2 標準断面図

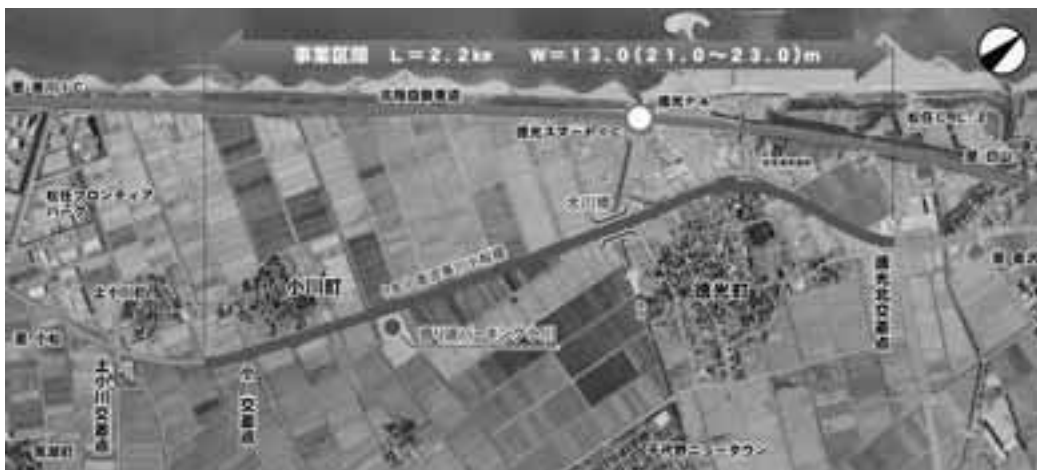


図 - 3 位置図

3 事業の効果

当該区間の整備により、朝夕の通勤・通学時間帯において、徳光北交差点を先頭に金沢方面へ向かって発生していた渋滞の解消¹が図られました。(写真 1)

1 最大渋滞長700m (H20.10) 0m (H28.12)

また、沿道の工業団地から物流拠点である金沢港、小松空港へのアクセスが向上し、県の産業・物流を支える幹線道路としての機能が益々高まり、立地企業の利便性向上や加賀地域へのものづくり企業の更なる集積に寄与するものと期待されています。



写真 1 渋滞状況 (徳光町地内)

4 事業の特徴

事業の特徴の1つとして、本道路沿いでは、田園風景の中で雄大な白山の眺望を楽しむことができることから、本事業にあわせて、風景を楽しみながら、ゆっくり周遊するための休憩施設「寄り道パーキング小川」を整備しました。パーキング内には、白山を眺望できる「視点場」を整備するとともに白山の魅力を紹介する「白山眺望案内板」を設置し、おもてなしの向上を図っています。(写真 - 2)



写真 - 2 寄り道パーキング小川

5 おわりに

昨年12月に行われた完成式には、谷本知事をはじめ、地元関係者など多数の方々が出席し、鏡開きや地元園児による歌や鼓隊演奏が披露されるなど、盛大に執り行われました。(写真 - 3)

また、現在、加賀海浜産業道路の一部区間である手取川架橋区間(川北町橋~能美市福島町間3km)において、美川大橋に複数路線の交通が集中し、朝夕の通勤時間帯に著しい渋滞が発生していることから、交通の分散を図るため、昨年11月より手取川を渡る新たな橋梁工事に着手しています。引き続き、地元の方々のご協力も頂きながら、一日も早い完成に向けて整備促進に努めてまいります。

最後になりますが、本事業が完成するにあたり多大なるご尽力をいただきました関係各位に、こころから感謝申し上げます。



写真 - 3 完成式典



写真 - 4 整備状況 (徳光北交差点から小川町望む)

平成28年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.2

施工企業名：南建設株式会社

工事名 平成27年度 県営ほ場整備事業
(耕作放棄地解消型)
滝地区 貯水池工事

施工場所 羽咋市滝町地内

工事概要 貯水池工 N=1箇所

工期 平成27年6月24日～平成27年10月30日

推薦理由

他工事との調整が必要なほ場整備工事

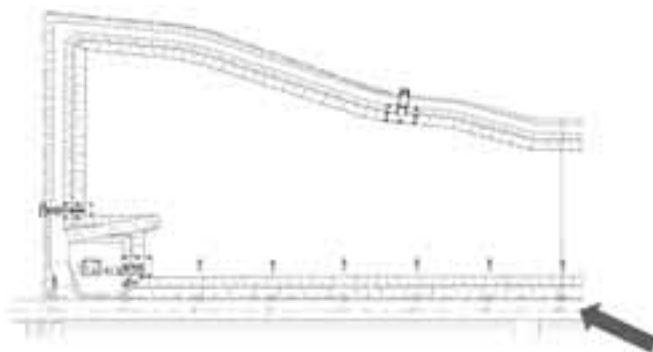
調整池造成に伴う大規模な掘削・石レキ等の分別・運土など、関連する他工事への配慮と工程調整を十分行い、余裕をもって良好な仕上がりを確保した。



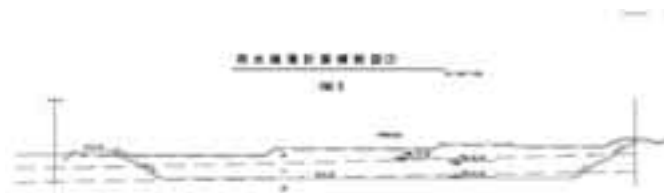
着工前



完成



撮影位置



断面図



平面図





掘削 法面整形 土砂積込



掘削 土砂積込



土砂積込



土砂運搬



土砂運搬



土砂運搬



構造物工



工程会議

現場代理人のコメント



現場代理人
高橋修市氏

この度、知事表彰という過大な賞を頂戴いたしまして心より厚く御礼申し上げます。

工事の内容は、隣接するほ場整備工事が5工事あり、当工事から3工事に掘削土砂を運搬し、残りは仮置きを行いました。

全体工程会議を1回/月の頻度で行い、3業者とは1回/週の頻度で工程の打合せを行い3工区の要望に応え、大量の土砂を効率よく運搬し土工適期に3工区が施工を完了できるよう建設機械の配置、10tダンプトラックの台数、運搬経路の敷き鉄板等準備、天候により工程の支障が発生しない工夫をしました。

現場内の築堤においても先行して発生した仮置土を構造物の埋戻し土に使用するため、ブルーシートで養生し品質確保に努めました。

工事期間中は天候にも恵まれ掘削、土砂運搬など順調に進み無事に工事を完了することが出来ました。これからも早期着工、気象情報の把握、工程調整、などに十分に注意し工事を行っていきたいと思います。

工事に貴重な御助言、ご指導を頂いた発注者様、区長、役員の皆様、近隣住民の皆様には深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

雇用改善コーナー

雇用対策特別委員会の開催

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、2月1日（水）午前11時から石川県建設総合センター4F 401会議室において、行政関係者並びに県内の工業系学校の担当教諭を招き、計31名にて平成28年度第2回目の委員会を開催した。

冒頭、岡委員長が「生産性の向上」と「働き方改革」が大きく取り上げられるようになってきた。少子高齢化により労働力不足がもたらされ、「時間当たりの労働生産性の向上」とワークバランス向上のための取り組みとしての「働き方改革」は技術者・技能者不足によって、建設生産システムの維持が脅かされ技術・技能の伝承が危ぶまれる状況にある。

皆様方には、「未来を創りふる里を守る建設産業」のさらなるイメージアップと魅力ある職場づくりの推進にご協力をお願いします。」と挨拶した。

続いて、石川労働局、石川県土木部監理課より行政連絡を受けた後、事務局より次の通り会議議題の報告を行った。

1. 現場見学会
2. インターンシップ
3. さんフェア石川2016への参加
4. 工業系高校生との意見交換会
5. 富士教育訓練センター派遣事業
6. 工業系優良卒業生表彰制度
7. 建設技術研修所 認定訓練について

引き続き、学校関係者・行政関係との意見交換が行われ、最後に連副委員長の挨拶にて閉会となった。



不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・・・・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

地区協会コーナー

早く春よこいこい!! いよいよ新「七尾中学校」開校!

(一社)七尾鹿島建設業協会

1. はじめに

当協会の屋上から見える山々や湾を隔てた能登島にうっすらと映しだされた雪もすっかり消え、いよいよ桜満開の季節がすぐそこに近づいてきました。そして昨年から進めていた統合七尾中学校も完成し、いよいよ新制「七尾中学校」が4月から開校致します。そこで今回は新「七尾中学校」にスポットをあて概要や特徴について簡単にご紹介致します。

まず新七尾中学校は、旧御祓、旧朝日、旧田鶴浜の各中学3校が新たに統合され、御祓川沿いに建設されました。全校生徒約550人を擁し、市内では既2校と、同じく4月に開校する新中島中学校と合わせて4校体制となります。ちなみに昨年7月に当協会主催でこの新中学校に入学する管内4校の小学6年生165人を対象に、建設現場見学会を実施しPTAを初めとする親御さんから大変好評を得たこともご報告させていただきます。以下に主なる概要と特徴についてご紹介致します。

2. 概要

建設場所 七尾市藤橋町地内 敷地面積 約53,000m²
計画建物として

- (1) 校舎棟・創作棟 延床面積：7,950.1m² 構造 鉄筋コンクリート造 2階建
通常学級数16学級 特別支援学級数3学級 特別教室等（音楽室、図書室、パソコン室等）
- (2) アリーナ棟 延床面積：4,792.5m² 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート 3階建
- (3) 運動場：メイングラウンド、サブグラウンド、400mトラック、サッカー場、野球場、テニスコート6面確保
- (4) 外構：駐車場（85台） 駐輪場（300台）を確保 (5) 事業費：約60億円

3. 特徴

この校舎の色彩は、七尾市出身の長谷川等伯作国宝「松林図屏風」をイメージしており、各種特徴として、

- ・わかりやすい12階建ての校舎
- ・大きな庇でみんなを迎え入れる生徒玄関
- ・部活動の同時利用に配慮したグラウンド
- ・ぐるぐる回れる「日の字型」の校舎
- ・校舎棟とアリーナ棟の間に創作棟（音楽室、美術室、技術室棟）を配置
- ・学校のシンボルとして2つの中庭を配置
- ・アリーナ棟は1階に武道場、卓球場を配置し、2階にメインアリーナとサブアリーナを配置

等々の工夫がなされており、以上が主なる概要と特徴であります。

最後に、今後この新しい中学校を卒業した生徒から七尾鹿島地区の建設業を支える若い担い手が多く出てくることを祈願してこの文を終えることにします。



七尾中学校イメージパース図
長谷川等伯「松林図屏風」をイメージした校舎



上空から見た七尾中学校

会員リレーコーナー

161 株式会社大窪工務店
(所在地：羽咋市福水町66)



社 章

当社の創業は、私の父である現在の会長が大窪家へ婿に入ったことから始まります。若い頃の父は、単車に道具箱一つを載せて大工作業に勤んでいたようですが、昭和46年に腎臓病を煩い入院を余儀なくされます。その頃を境に昭和47年請負工事業を始めることになりました。これが現在の会社のはじまりになります。

当時は羽咋・中能登を中心に繊維業が発展しておりピーク時には工場の受注が週に一棟のペースで棟上げが行われるほどだったそうです。請負業といっても家内業ですから、父と母は朝の早くから暗くなるまで忙しい日々を過ごしたそうです。その後は、繊維業界の衰退とともに繊維工場の建築から、住宅建築工事へと比重が移っていきました。

それからしばらくして、一つの小さな土木工事をきっかけに、公共工事に参加するようになっていきました。初めは小さな災害工事や数本の側溝入れなどが主であったのですが、徐々に実績を付け昭和の終わりから平成にかけては、林道工事・治山工事など山林に関わる大型工事を受注できるようになっていきました。平成5年には法人化し、株式会社大窪工務店として、スタートを切りました。会社の理念は感謝としました。又、この年には、日本治山治水協会より治山コンクールにおいて表彰される大変名誉な年でもありました。建設工事を手がけて30年あまりで随分と我社を取り巻



社 屋

く環境も変化してまいりました。工事の発注形態が指名競争から一般競争入札の導入と変わり、大型物件の受注が難しくなってきたことや、一時的な国の公共工事の方向転換もありました。工事監理においても電子納品化等、会社や現場員の資質が高く問われるようになってくるなど、地方の小さな建設業者に対しても会社・技術等のクオリティの向上が求められてきました。

その間にISOの取得、現場員の講習会等に参加させるなど社内の改革も勧めております。又介護事業へも参入し国の施策にも沿った形で歩んできてまいりました。

公共工事を請負いながら感じていることは、地元の方々に喜んでもらえる工事をする事で終わった後もいろんなお付き合いが続き地域に支えられていることが実感できることです。その感謝の実践として我社では『一法人・一奉仕』の理念のもとに建設業では、はなさか爺さん事業で桜の植栽活動を行い毎年除草作業やさくら・そば祭りへの参加又、介護事業においては職員で小劇団を作り慰問等を行うなど地域の方々と一体となり少しでも地域が元気になればと活動しております。

日本経済も混沌としている中、建設業においては先行き不安定な状況ではあります。常に地域の中でお互いに支え合える会社としてこれからも社員一同切磋琢磨してゆきたいと願っております。

次回は(株)和泉建設 和泉康夫さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願いいたします。

(株式会社大窪工務店 代表取締役 大窪哲夫)

今月の「輝き！」さん

No. 24



株式会社田村工業 はまざきみずき 濱崎瑞稀さん

業 種：土木施工管理技士見習い
 経験年数：10ヶ月
 年 齢：19歳

七尾市の(株)田村工業に「今月の輝きさん」を訪ねました。

- 名前を見ると女性かと思いますが、実際は体格の良い青年です。まずはあなたの自己紹介をお願いします。

僕は現在七尾市中島町で母親と二人暮らしをしています。小・中学校は生まれ育った中島町の学校を出ました。高校は七尾の市街地にある鵬学園の普通科に進み、卒業と同時にこの会社に入社しました。

- どうして建設業を職業として選んだのですか？

僕の祖父や母の弟にあたる叔父さんが建設業に働いていたことから建設業にあこがれがあり、特に建設機械を扱う仕事が魅力でした。

- あなたの会社は土木一式を請け負う建設会社ですが、この会社を選んだ動機を教えてください。

高校を卒業したら地元で働くつもりでした。2年生の時職業体験学習でお世話になったのがこの会社でした。その時お世話になった部長さんや監督さんの雰囲気良かったこと、また担任の先生とこの会社の社長さんが同期生という関係もあって、そんなご縁でこの会社にお世話になることとしました。

- 土木施工管理技士見習いとして、やがて1年になりますが、建設関係の仕事に携わりどんなことを感じましたか？

これまで下水道工事、ほ場整備工事、側溝工事などを経験しましたが、中でも下水道工事に興味を持ちました。単に管をつなぐだけと思っていましたが、勾配や長さの調整ありで大変緻密だと感じました。また、これまで大雑把な感じで土木をとらえていましたが経験してみると大変緻密なものだと思いました。

- 会社の雰囲気はどうか？

社員は少人数ですが監督や見習いの区別なく、与えられた仕事は皆が共同で行うことがこの会社のルールとなっています。なお、僕の直近には40歳代の人が4名おり皆親切ですが、年齢差がありすぎるため、気兼ねなく話すとなるとやはり友達か母親です。

- 仕事に対する夢や抱負をお聞かせください。

測量技術、パソコン、トラック等の免許、土木施工管理資格、等々学ばねばならないことはたくさんありますが、車両系建設機械の資格を取り、休憩時間を利用して実践に向けて練習を積んでいます。結婚は仕事の実力や収入等を考えると25歳位が理想です。

- 余暇はどのように過ごしますか？

高校でバスケットをしていたこともあり社会人バスケットに参加しています。最近は地元の友達と県外へ出かケスノーボードを楽しんでいます。

建設業にはじめて携わる若者が、自ら建設機械を使って道づくりに取り掛かりました。様々な経験と学習を経て、誰にも負けない立派な道を創り上げることを期待してやみません。



けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

常任理事会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)の常任理事会は、2月3日(金)午後2時から石川県建設総合センター特別会議室において開催された。会は吉光会長が冒頭の挨拶を行い、引き続き議題として次の事項が審議及び報告がなされた。

1. 北陸地方整備局との意見交換会について
本月7日(火)北陸地方整備局の幹部と当協会役員との意見交換会の議題について審議が行われた。
2. 建設業をめぐる最近の話題について
報道資料に基づき6件の話題が辻専務理事より報告がなされた。
3. 地区協会からの報告について
各地区協会から、それぞれの地区における行事や業界事象等に関する報告がなされた。
4. 会員受注高調べ、今後の日程について
平成28年10月から12月までの会員の受注高調べ及び今後の主な日程について報告がなされた。



北陸地方整備局との意見交換会の開催

2月7日(火)に石川県建設総合センター会議室において、北陸地方整備局との今年度2回目の意見交換会を開催した。意見交換会には北陸地方整備局から中神局長、渡辺企画部長、岩見建政部長、他9名の北陸整備局幹部が出席し、当協会からは正・副会長及び常任理事が出席した。

会議では冒頭に中神局長からは、平成27年度の第2次、第3次補正予算及び平成28年度予算案に触れ、早期発注と施工の平準化をより一層推進する考えを示した。i-Construction(アイ・コンストラクション)については、生産性革命の前進の年であることから、3本柱のICT活用工事、工事の平準化、プレキャスト規格化に局を挙げて取り組むと述べた。これに対して吉光会長からは、ストック効果の高い、21世紀型の社会インフラ整備を実現するという観点からも地域に密着した公共事業予算の安定的かつ持続的な確保を要望・要請した。

意見交換会では、平成29年度公共事業予算の地方への重点配分及び中長期的な予算確保、発注時期や施工時期の平準化、発注見通し情報の国交省・県・市・町一体公表、低入札調査基準価格等の更なる引き上げ、公共事業のICT化推進の展望、労務単価の更なる引き上げと現行調査方法の見直しの6項目について、協会から要望事項の趣旨説明の後、北陸地方整備局からの回答を受け、その後、自由討議方式で出席者との間で活発な意見交換が行われ、散会した。



地区協会事務担当者説明会の開催

今年度の標記説明会を下記のとおり、県内9地区協会243名出席の下、開催した。

日 程

- 1月30日(月) 河北地区(23名)
 31日(火) 白山地区(16名) 金沢地区(63名)
 2月 1日(水) 珠洲地区(13名) 鳳輪地区(44名)
 2日(木) 七尾地区(27名) 羽咋地区(15名)
 3日(金) 加賀地区(17名) 小松地区(25名)



プログラム

1. ・建設業における法令順守について
 ・入札・契約制度について 石川県土木部監理課
2. 全国建設業協同組合連合会総合補償制度について
 損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社
3. 前払い金の有効活用のご提案 東日本建設業保証株式会社石川支店
4. 高齢者・障害者の雇用のための助成金について
 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構石川支部
5. 法定外労災補償制度について 公益財団法人建設業福祉共済団
6. 経営状況分析にかかる電子申請について 一般財団法人建設業情報管理センター東日本支部
7. ハローワーク金沢からのお知らせ(金沢会場のみ)
 ハロ - ワーク金沢
8. そ の 他
 ・建退共制度について 一般社団法人石川県建設業協会

建設キャリアアップシステムの構築に関する説明会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、2月24日(金)午前10時より石川県建設総合センター特別会議室において、国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課木村 実課長を講師として、協会役員に対する建設キャリアアップシステムの構築に関する説明会が開催された。

建設キャリアアップシステムとは、国土交通省、学識経験者、各種建設産業団体の連携により技能者の就業履歴等を蓄積する「建設キャリアアップシステム」を構築し、個々の建設労働者の技能と経験に応じた適正な評価や処遇を受けられる環境を整備することにより建設業の現場を担う技術者の減少という構造的課題に対応しようとするもので、本システムの開発及び運用は建設業振興基金が担い、今後は建設業界全体でシステムの構築に取り組んでゆく旨の説明がなされた。これに対して出席者からはシステムの具体的な運用方法や各企業の役割、運用のメリット等について活発な質疑が行われた。



委員会の開催

土木委員会

金沢河川国道事務所との意見交換会の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、2月2日（木）ANAホリデイ・イン金沢スカイにおいて、国土交通省所管の直轄工事について金沢河川国道事務所との意見交換会を開催した。意見交換会には、金沢河川国道事務所より事務所長の富山英範氏、副所長の石川一栄氏、杉浩行氏、工物品質管理官の万行康文氏をはじめ、工事発注・工事検査等の担当課長や工事検査や監督職員として現場の第一線でご指導されている建設監督官、出張所長の28名の方々にご出席を頂き、当協会からは土木委員会の正副委員長の他、総務部会、安全対策部会、施工管理部会、舗装部会、懇話会の44名の委員の方々に参加した。



冒頭に竹腰委員長と富山事務所長の挨拶の後、事務所長の富山英範氏より「直轄事業等に関する最近の話題について」と題しての講話して頂いた。引き続き当協会の辻専務理事から「建設業を取り巻く諸課題について」講話をされた。この後、両副所長より平成28年度の北陸地方整備局及び金沢河川国道事務所管内の第3次補正予算概要について情報提供がされた。

意見交換会では、土木委員会より 入札・契約関係（4課題）、総合評価関係（2課題）、設計積算関係（11課題）、施工関係（4課題）、監督・検査関係（2課題）、担い手3法関係（3課題）、社会保険未加入、担い手確保など諸課題関係（3課題）の29課題について、当土木委員会各部会の副部会長（総務部会、施工管理部会、舗装部会）懇話会座長から要望や提案事項の趣旨説明の後、金沢河川国道事務所からの回答を受け、出席した各委員と発注者の双方による質疑と活発な意見交換が行われ、散会した。

建築委員会

技術部会の開催

技術部会（部会長 本田正敏）は、2月3日（金）に当協会にて部員9名の参加にて開催した。

本田部会長の挨拶の後、事務局より、今年度調査対象事業は、平成27・28年度に県発注建築大型工事（概ね1億円以上の建築工事）の中で、今年度中に完成する8件になると報告され、これらを調査対象とすることが承認された。



また、調査報告の提出時期を2月末とし、3月中に第2回の技術部会を開催し、調査結果を取り纏めることも決定された。県発注工事の一般管理費や下請け経費率がこの1月1日から改定されたことも報告された。

さらに建設業法で解体工事の区分が新設されたが、解体工事の許可には登録解体工事講習の受講が必要とされていること、総合評価の技術提案の書き方などの意見交換がなされ、有意義な会議となった。

災害防災訓練の実施

建築委員会（委員長 橋本和雄）は、2月15日（水）に会員と協力者の合計70名の参加で県との災害協定に基づき平成24年度から数えて第5回目の「災害防災訓練」を開催しました。

訓練に先立ち、11月30日（水）に災害協定に基づき災害防災訓練を県の協力を受けて開催することを確認し、また、今年度も昨年度に引き続き、実際に被害が発生した場合を想定し、早急に被災状況を共有す



るために携帯電話、スマートフォンを活用して被災状況写真を送付することを主眼とする情報伝達訓練を実施すること並びに今年度より能登・金沢・加賀地区の各1箇所で県で想定した被災建築物を担当協力者が施設管理者から被害状況を聞き取りの上、被災建築物の調査・応急復旧・記録作成を行う応急復旧訓練を行うことを確認した。

当日、午前9時過ぎに県よりFAX・メールで「災害防災訓練」の指示が協会へあり、直ちに、県協会より各地区代表者である班長にメールとFAXで一斉に訓練開始の連絡がされました。

早いものでは午前9時30分頃に各委員から写真を添付して報告があった。途中でメールが殺到したため事務局のパソコンがダウンしてしまい何回も送信しなければ報告が届かないなどのトラブルを生じたが午後4時頃までに報告が出そろい、取りまとめの上、県に報告することが出来ました。

当日は厳しい寒さの中にもかかわらず、概ね良好な写真を早期に送付いただき県内総計で83カ所の県有施設の被災状況を確認と3カ所での応急復旧訓練を無事に終えることができました。

大規模地震を想定した、情報伝達の訓練と情報の共有化訓練並びに応急復旧訓練を実施することができました。

会員並びに協力者には、お寒い中訓練に参加いただきましてありがとうございました。

土地改良委員会

県農林水産部との意見交換会の開催

技術検討部会（部会長 小柳 誠）は、2月16日（木）に金沢ニューグランドホテルにおいて、平成28年度「県農林水産部との意見交換会」を農林技術管理室の道下室長、角村担当課長、山本課長補佐、農業基盤課の古西担当課長の4名、技術検討部会から小柳部会長他19名の計24名が参加して開催された。

冒頭、小柳部会長の開会挨拶と道下農林技術管理室長の来賓挨拶の後、意見交換会が始まり、最初に県からの情報として、

1. 平成29年度農業農村整備事業関係予算の状況について
2. 農林水産部発注工事等に係る歩掛かりの改定について
3. 施工パッケージ型積算方式への対応について
4. 創意工夫等の実施状況及び総合評価方式における技術提案の履行状況の様式の改定について

などの説明がなされた。

その後、部会員からの県への意見・要望では、「土地改良事業でのICT施工を試行する場合、どのような工事に適用されるのか」や「農道利用の場合に、その養生に係る仮設費や仮設水路などの適切な工法を、実施工に即した設計で積算して頂きたい」など様々な意見や要望がなされ、県からは「農林水産省ではICT施工についての制度や積算基準はまだ整備されていないことから、県の補助事業での試行は未定である。今後、国の動向を注視し速やかに対応したい。」また、「仮設工などの実施工に即した設計積算は、現場状況により当初設計より計上は可能である。任意仮設であっても当初の想定状況と異なるなどの場合は、経済的、合理的な工法比較の上、妥当であれば設計変更は可能であるので、今後その様なことのないよう適切な積算となるよう徹底したい。」などの回答を得るなど、土地改良委員会にとって有意義な「意見交換会」となった。



広報・研修委員会

企画部会の開催

企画部会（部会長 高田直人）は、2月21日（火）午前10時30分から石川県建設総合センターにおいて企画部会が開催された。

冒頭高田部会長が挨拶を述べた後、下記議題について審議報告がなされた。

- 1 協会報3月号について

協会報3月号の編集計画の説明が行われ了承された。

2 「平成29年度新入社員研修」の開催について

自衛隊の体験入隊等をメニューとした、新入社員研修が本年も4月10日(月)から4日間実施することとし、参加者の募集について報告がなされた。

3 その他

建設現場における小型ドローンの活用が目される中、活用に伴う各種規制の実態について勉強会を開催する必要性が議論された。



建設青年委員会

新春講演会の開催

建設青年委員会(委員長 北川隆明)は、2月20日(月)午後4時から金沢都ホテルにて、新春講演会を開催した。

当講演会は昨年度より開催され、今回は2回目の開催となりました。

講師には三方良しの公共事業推進研究会理事の有限会社磯部組技術部長 宮内保人様をお迎えし、「ありがとう」と言われる公共事業をめざして～三方良しの公共事業、その理念と実践～の演題でご講演を頂いた。

講演では、発注者、受注者との2者間に住民(ユーザー)にも参加してもらい三者全てがウィンウィンになれる「三方良し」の取り組みについて事例を交えながらご講演を頂いた。

当日は金沢河川国道事務所・石川県・金沢市からも多数のご参加を頂き、委員と合わせ120名が聴講し、盛況のうち終了した。

講師 宮内保人氏(ブログ <http://blog.goo.ne.jp/isobegumi>)



環境・情報対策特別委員会

平成28年度 北陸ICT戦略セミナーの開催

北陸ICT戦略研究会(国土交通省 北陸地方整備局)の構成メンバーである当協会の「環境・情報対策特別委員会(委員長 長坂知通)」は北陸地方整備局と共催して、2月13日(月) 石川県建設総合センターで「平成28年度 北陸ICT戦略セミナー」を開催した。

このセミナーは、建設業を取り巻く将来的な課題(熟練技術者・技能者の不足など)に対応するため、高効率・高精度な施工を実現するICT(情報通信技術)を活用した情報化施工の導入・拡大に向けて、北陸地方の情報化施工を主体にした建設ICT(情報通信技術)のこれまでの取組や情報化施工事例について、情報化施工の経験を持つ建機リース会社と石川県内でICT活用工事の施工を担当した地元建設企業から以下の内容の発表を行って頂いた。

- 1 i-Construction について
(北陸地方整備局企画部施工企画課)
- 2 ICT活用工事の事例報告等について
 - (1) ICT建設機械の最新動向
(キャタピラーウエストジャパン合同会社)
(コマツレンタル株式会社)
(日立建機日本株式会社)
 - (2) H27手取川舟場島急流河川対策その1工事
(株式会社吉光組)



(3) H27・H28能越道中道路その4工事
(南建設株式会社)

このセミナーには、当協会会員や石川県内の土木関連企業、国土交通省職員（北陸地方整備局）、農林水産省（北陸農政局）、地方自治体職員（石川県、小松市、七尾市）など約200名が参加した。

建設技術研修所

・「工事の情報共有システム学習会」の開催 ～建設産業への新規学卒者（工業高校等）における即戦力の養成～

このたび、（一社）石川県建設業協会と（株）アイサスは共同で、工業系高校等の就職予定者を対象に「工事の情報共有システム学習会」を県内の工業系高校生等を対象に下記の通り実施しました。

情報共有システムは、公共工事施工の際、受・発注者間で交換される工事情報（図面、文書、写真など）を、「電子」の状態インターネットを使い提出や決裁を行う、システムで、本システムを使って各種の工事情報を「電子」で取り扱うことにより、文書授受の簡便化と迅速化、及び、文書作成手間の軽減など、多くの効果が生まれ、公共事業の生産性向上に資することが期待されています。

学習会は平成26年より継続的に開催しておりますが、今回の学習会では、生徒が模擬工事の現場代理人と監督員の役に別れ、打合せ簿の発議・決裁など、実務と同様の操作を行うことにより公共工事やシステムを理解していただきました。



会場写真

記

開催日、開催校、対象学科、参加者数

平成29年1月25日(水)	石川工業高等専門学校 環境都市工学科4年生	28名
平成29年2月23日(木)	石川県立小松工業高等学校 建設科3年生	17名
平成29年2月28日(火)	金沢市立工業高等学校 土木科3年生	22名

学習の内容

- ・情報共有システムの関連知識とシステム体験

石川県土木施工管理技士会だより

JCM セミナー（DVD 講習会）の開催

石川県土木施工管理技士会（会長 江口介一）は、2月16日（木）、小松能美建設業協会においてJCM セミナー（DVD 講習会）を開催した。

この講習会は、全国技士会連合会と各県技士会の共催で実施するもので、内容はDVDによる3回の講義と、講義の後の小テストで構成されている。付与されるユニット数は、講義で4ユニット、小テストの合計点はその会場の平均点以上に2ユニット、最大で6ユニット付与される。

今回は、22名の参加があり、出席者は講義、小テストに熱心に取り組んでいた。なお、当技士会では、今後JCM セミナー（DVD 講習会）を3月16日（木）に七尾鹿島建設業協会にて開催を予定している。



建災防石川支部だより

平成29年度技能講習等実施計画（平成29年4月～30年3月）

建設業労働災害防止協会石川支部

講習	期 日	場 所	定員	受付開始日
玉掛技能講習	3月30日(木)～31日(金)	学科 石川県建設総合センター	40名	2月27日(月)
	4月1日(土)	実技 (一社)日本クレーン協会		
職長・安全衛生責任者教育	4月6日(木)～7日(金)	石川県建設総合センター	50名	3月6日(月)
自由研削用といし(グラインダ)特別教育	4月17日(月)	石川県建設総合センター	40名	3月13日(月)
足場の組立て等特別教育(時間短縮3時間)	4月19日(水)	石川県建設総合センター	50名	3月21日(火)
ロープ高所作業特別教育	4月25日(火)	(一社)日本クレーン協会	40名	3月27日(月)
小型移動式クレーン運転技能講習	4月27日(木)～28日(金)	学科 石川県建設総合センター	40名	3月27日(月)
	4月29日(土)	実技 (一社)日本クレーン協会		
酸素欠乏危険作業特別教育	5月10日(水)	石川県建設総合センター	50名	4月10日(月)
足場の組立て等特別教育(6H)	5月16日(火)	石川県建設総合センター	50名	4月17日(月)
玉掛技能講習	6月1日(木)～6月2日(金)	学科 石川県建設総合センター	40名	5月1日(月)
	6月3日(土)	実技 (一社)日本クレーン協会		
石綿作業主任者	6月6日(火)～7日(水)	石川県建設総合センター	50名	5月8日(月)
職長・安全衛生責任者教育	6月8日(木)～9日(金)	石川県建設総合センター	50名	5月8日(月)
建設業等における熱中症予防指導員研修	6月13日(火)	石川県建設総合センター	50名	5月15日(月)
刈払機取扱作業安全教育	6月14日(水)	石川県建設総合センター	30名	5月15日(月)
小型移動式クレーン運転技能講習	6月15日(木)～16日(金)	学科 石川県建設総合センター	40名	5月15日(月)
	6月17日(土)	実技 (一社)日本クレーン協会		
足場の組立て等特別教育(時間短縮3時間)	6月20日(火)	石川県建設総合センター	50名	5月22日(月)
施工管理者等のための足場点検実務者研修	6月22日(木)	石川県建設総合センター	30名	5月22日(月)
玉掛技能講習	7月6日(木)～7日(金)	学科 石川県建設総合センター	40名	6月5日(月)
	7月8日(土)	実技 (一社)日本クレーン協会		
足場の組立て等作業主任者	7月11日(火)～12日(水)	石川県建設総合センター	50名	6月12日(月)
職長・安全衛生責任者教育	7月13日(木)～14日(金)	石川県建設総合センター	50名	6月12日(月)
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	7月19日(水)～21日(金)	石川県建設総合センター	50名	6月19日(月)

講 習	期 日	場 所	定員	受付開始日
足場の組立て等特別教育 (6 H)	7月26日(水)	石川県建設総合センター	50名	6月26日(月)
刈払機取扱作業安全教育	8月1日(火)	石川県建設総合センター	30名	7月3日(月)
低圧電気取扱作業従事者特別教育	8月3日(木)	石川県建設総合センター	50名	7月3日(月)
型枠支保工の組立て等作業主任者	8月22日(火)~23日(水)	石川県建設総合センター	50名	7月24日(月)
職長・安全衛生責任者教育	8月24日(木)~25日(金)	石川県建設総合センター	50名	7月24日(月)
玉 掛 技 能 講 習	9月7日(木)~8日(金)	学科 石川県建設総合センター	40名	8月7日(月)
	9月9日(土)	実技 (一社)日本クレーン協会		
足場の組立て等作業主任者	9月21日(木)~22日(金)	石川県建設総合センター	50名	8月21日(月)
小型移動式クレーン運転技能講習	10月19日(木)~20日(金)	学科 石川県建設総合センター	40名	9月19日(火)
	10月21日(土)	実技 (一社)日本クレーン協会		
職長・安全衛生責任者教育	10月25日(水)~26日(木)	石川県建設総合センター	50名	9月25日(月)
石綿作業主任者	11月7日(火)~8日(水)	石川県建設総合センター	50名	10月10日(火)
玉 掛 技 能 講 習	11月9日(木)~10日(金)	学科 石川県建設総合センター	40名	10月10日(火)
	11月11日(土)	実技 (一社)日本クレーン協会		
施工管理者等のための足場点検実務者研修	11月22日(水)	石川県建設総合センター	50名	10月23日(月)
木造建築物等の組立て等 作 業 主 任 者	12月6日(水)~7日(木)	石川県建設総合センター	50名	11月6日(月)
自由研削用といし(グラインダ) 特 別 教 育	12月12日(火)	石川県建設総合センター	40名	11月13日(月)
職長・安全衛生責任者教育	12月14日(木)~15日(金)	石川県建設総合センター	50名	11月13日(月)
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	平成30年1月17日(水)~19日(金)	石川県建設総合センター	50名	12月18日(月)
統括安全衛生管理講習	平成30年1月23日(火)	石川県建設総合センター	50名	12月18日(月)
低圧電気取扱作業従事者特別教育	平成30年1月25日(木)	石川県建設総合センター	50名	12月25日(月)
型枠支保工の組立て等作業主任者	平成30年2月1日(木)~2日(金)	石川県建設総合センター	50名	平成30年1月5日(金)
足場の組立て等作業主任者	平成30年2月7日(水)~8日(木)	石川県建設総合センター	50名	平成30年1月9日(火)
職長・安全衛生責任者教育	平成30年2月14日(水)~15日(木)	石川県建設総合センター	50名	平成30年1月15日(月)
建築物等の鉄骨組立て等 作 業 主 任 者	平成30年3月6日(火)~7日(水)	石川県建設総合センター	50名	平成30年2月5日(月)
職長・安全衛生責任者 能 力 向 上 教 育	平成30年3月8日(木)	石川県建設総合センター	40名	平成30年2月5日(月)

日程は変更になる場合がありますので、お電話、またはHPで御確認ください。

TEL : 076 244 7146 URL : <http://www.kensaibou-ishikawa.jp/>

業界時報

No.	標題、発出機関・発出番号・発出年月日、アドレス
1	平成29年春の全国交通安全運動の実施について（通知） 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）【府政共生第167号 - 5・平成29年2月16日】 http://www8.cao.go.jp/koutu/keihatsu/undou/h29_haru/youkou.html
2	公共工事の円滑な施工の確保について 総務省自治行政局長、国土交通省土地・建設産業局長【総行第24号、国土入企第22号・平成29年2月10日】 なお上記については、下記協会ホームページに掲載しています。 http://www.ishikenkyo.or.jp/
3	技能労働者への適切な賃金水準の確保について 国土交通省土地・建設産業局長【国土入企第23号・平成29年2月10日】 国土交通省土地・建設産業局長【国土入企第24号・平成29年2月10日】 http://www.nikkuei.or.jp/img/f_users/r_132025504icon20170223133620.pdf
4	公共事業労務費調査（平成28年10月調査）の実施報告について （公共事業労務費調査連絡協議会事務局）国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長【国土建労第1030号・平成29年2月10日】 なお上記については、下記協会ホームページに掲載しています。 http://www.ishikenkyo.or.jp/
5	「官公庁施設整備における発注者のあり方について」の答申（社会資本整備審議会）について 国土交通省土地・建設産業局建設業課長【国土入企第21号・平成29年1月24日】 http://hyokenkyo.or.jp/files/5214/8585/2709/359beb242ca180f8de09e0c53042e1de.pdf
6	建築物の解体工事における安全確保について 国土交通省土地・建設産業局建設業課長【国土建第398号・平成29年1月26日】 http://hyokenkyo.or.jp/files/1714/8611/0247/46c86a7c53deb322fed7a68d967ef4e.pdf
7	建設工事等におけるガスパ損傷事故の防止について 経済産業省商務流通保安グループガス安全室長【29商ガ安第1号・平成29年1月31日】 国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長【国土専建第32号・平成29年2月17日】 http://www.nakenkyo.or.jp/news/dl.php?pdf=5d7bcfb9.pdf&name=%E5%85%A8%E5%BB%BA%E4%BA%8B%E7%99%BA%E7%AC%AC129%E5%8F%B7 http://www.nakenkyo.or.jp/news/dl.php?pdf=5d7bcfb9-2.pdf&name=%E5%9B%BD%E5%9C%9F%E4%BA%A4%E9%80%9A%E7%9C%81%E9%80%9A%E7%9F%A5
8	「過労死ゼロ」実現に向けた緊急要請について （一社）全国建設業協会【全建労第85号・平成29年2月14日】 「過労死ゼロ」実現に向けた緊急要請 厚生労働大臣【平成29年2月7日】 http://hyokenkyo.or.jp/files/5314/8722/2863/a7bcdce314df4bf9eaa6ce7bffa3fad9.pdf
9	平成29年度の大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者の就職・採用活動に係る取扱い等について 厚生労働省職業安定局長【職発0202第7号・平成29年2月2日】 石川労働局長【石労発0214第2号・平成29年2月14日】 http://itsys.jeca.or.jp/system/admin/datac/9/syokuhatu0202dai7gou.pdf 採用選考に関する指針【（一社）日本経済団体連合会・2016.9.20改定】 http://www.keidanren.or.jp/policy/2016/081_shishin.pdf 「採用選考に関する指針の手引き」【（一社）日本経済団体連合会・2015.12.7改定】 http://www.keidanren.or.jp/policy/2015/112_tebiki.html
10	平成30年3月新規中学校・高等学校卒業者の就職に係る推薦及び選考開始期日等並びに文書募集開始時期等について（通知） 文部科学省初等中等教育局長、厚生労働省職業安定局長【28文科初第1379号、職発0124第3号・平成29年1月24日】 http://itsys.jeca.or.jp/system/admin/datac/9/28monkahatudai1379gou.pdf
11	廃棄物の適正処理の徹底について 石川県土木部長【監第2207号・平成29年2月6日】 石川県警察本部生活安全部長【生環乙第42号・平成29年2月3日】 なお上記については、下記協会ホームページに掲載しています。 http://www.ishikenkyo.or.jp/
12	「平成29年3月から適用する公共工事設計労務単価」及び「平成29年度設計業務委託等技術者単価」の運用に係る取扱いについて 石川県土木部長【監第2263号・平成29年2月15日】 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/torikumi.html

本表の業界時報は、協会員の方々には毎月 URL リストでメール配信を行っています。

建設業労務安全必携

平成28年版(隔年発行)
書籍 & CD-ROM

【価格】書籍：2,400円(消費税込、送料別) / CD-ROM：8,000円(消費税込、送料無料)

1.書籍の特色

①工事の段階ごとに説明

「I 手続き書類一覧の部」において、「工事開始」から「工事中」「工事の終了」までのどの段階で、どのような様式書類を、どのように作成提出しなければならないかを、準拠法令や留意点を示し説明しています。

②わかりやすい記載例と注釈

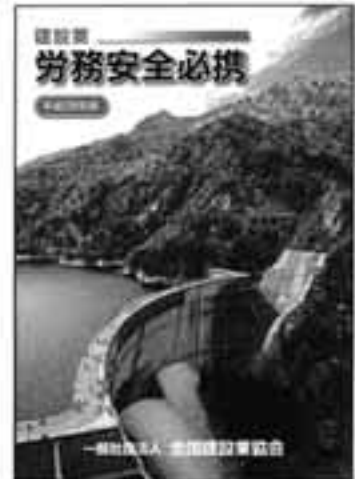
「II 様式記載例の部」において、「法令上必要な諸手続き書類」の記載例等印字模の網掛け、記載例をゴシック文字で表記し、注意点を「編者注」として示し、わかりやすく説明しています。
NEW! マイナンバー制度開始により改正された様式に掲載

③豊富な参照資料

「III 重要法令資料の部」において、参照したい関係法令や関連資料を網羅しています。この重要法令資料は労務安全業務の教育テキストとしてもご活用いただけます。

④主な改定内容

労働基準法関係では「年次有給休暇の取得促進」「フレックスタイム制の見直し」、労働安全衛生法関係では「安衛則の改正(足場からの墜落防止・ロープ高所作業に関する改正)」「高圧則の改正(減圧方法に関する改正)」、労災保険関係では「労災保険率、労務比率の改定」「一括有期事業適用要件、メリット制適用要件の改定」「請負金額取扱いの改定」「労務比率暫定措置の廃止」、雇用保険関係では「基本手当日額の改定」「雇用安定事業内容の改定」、厚生年金・年金保険法関係では「年金給付額の改定」、土健保関係では「保険料、保険給付の改定」、建設業法関係では「施工体制台帳等の改定(作成要件、全建統一様式)」、労働者派遣法関係では「法令の改正(特定労働者派遣事業廃止、派遣可能期間の設定等)」、雇用改善法関係では「雇用管理制度助成金の改定」、環境関連法関係では「フロン回収・破壊法の改正」



2.CD-ROMの3つの基本機能

①作る機能

提出する「諸手続(様式)書類」と「全建統一様式書類」を、「記載例」や「準拠条文」を参照しながら作成・印刷・保存・修正・複写できます。「諸手続(様式)書類」の保存データはExcel形式です。文字の大きさ・書体の変更やデータの他での利用が可能です。(OCR様式には対応できません。)

「らくらく作成全建統一様式」では、「全建統一様式」が更に作りやすく、目的書類を選び「記載例」等を参照しながらExcel入力するだけで簡単に作成できます。

NEW! 平成27年4月の法令改正対応の「全建統一様式」改訂版を収録

②計算する機能

単独有期事業の労災保険料と分納回数・期日・納付額などの計算ができます。一括有期事業の労災保険料の計算と提出用の開始届および報告書等がExcel形式で作成できます。労働災害に伴う労災保険給付と損害賠償のシミュレーション計算ができます。
NEW! 平成27年4月1日労働保険徴収則改正に対応(労災保険率、労務比率、請負金額の消費税の取扱い)

③関係法令・規則の閲覧機能 (インターネットに接続できる環境が必要です。)

労務安全関連法令・規則の目次ページから該当する最新の全文を閲覧できます。

④その他の機能

平成26年版で作成した「諸手続(様式)書類」や「単独有期事業の労災保険料」「労災保険給付と損害賠償のシミュレーション計算」を平成28年版にデータ移行することができます。セキュリティパスワードの設定が可能です。対象：①作る機能 ②計算する機能の「労働保険(単独有期事業)の保険料の分納回数・期日・納付額の計算」③計算する機能の「労働災害に伴う労災保険給付および損害賠償のシミュレーションの計算」



※使用上の注意とサポート

本システムは、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1上で稼働いたします。CD-ROM内収容の操作マニュアルを参照の上ご使用ください。(お問い合わせは、マニュアル掲載のサポートセンターが対応します。)内容および機能の詳細は、<http://ro-ken.net> (書籍) および hypp://anyway.co.jp/hikkei/ (CD-ROM) でご覧いただけます。

目次 [B5判 本文(1色) 750頁]

- I 手続書類一覧の部 (手書き書類記載例の掲載頁、準備案文、作成条件・時期等を掲載の備考を掲載)
 - 1. 工事開始時 2. 工事中臨時 3. 工事中定期 4. 工事終了時 5. 事業運営又は改修費付書類 6. 参考手続書類一覧 7. 保存書類及び保存期間
- II 様式記載例の部 (様式書式の記入エリアをアミ線で、記入例を太字で掲載し、注意点は「備考注」で説明)
 - 1. 工事開始時 2. 工事中臨時 3. 工事中定期 4. 工事終了時 5. 事業運営又は改修費付書類
- III 重要法令資料の部
 - 第1労働基準法関係 第2労働安全衛生法関係 第3じん肺・粉じん法関係 第4労災保護法・徴収法関係 第5自動車運送関係保障法関係
 - 第6雇用保護法関係 第7国土・建設・国民健康保険総合関係 第8健康保険法関係 第9厚生年金保険法・国民年金法関係
 - 第10建設業法関係 第11建設労働者の雇用の改善等に関する法律関係 第12男女雇用機会均等法関係
 - 第13育児・介護休業法に関する法律関係 第14介護保険法関係 第15労働者派遣法等関係 第16資金の支払の確保等に関する法律関係
 - 第17高年齢者等の雇用の安定等に関する法律関係 第18出入国管理及び難民認定法関係 第19労働関係法令等 第20各種制度
- IV 官公署等一覧の部 (労働局及び労働基準監督署、都道府県建設業協会等)
- V 付録の部 (高年齢者等表、就業の範囲、産業分類、標準月給月額、各種保険料率表等)

**平成28年版 建設業労務安全必携 <<書籍/CD-ROM>>
FAX申込書**

建設労務安全研究会 宛
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館 5階
 TEL:03-3551-5277 FAX:03-3551-2487
 ※ホームページからもご注文いただけます。 URL: <http://www.ro-kenet/hikkel/>

申込日 年 月 日

郵便番号 住所

会社名

所属部署

担当者名

電話番号 FAX番号 E-Mail

建設業労務安全必携<<書籍>>(2,400円)を 冊、購入します。
 建設業労務安全必携<<CD-ROM>>(8,000円)を 枚、購入します。

支払方法 (いずれかに○を付けて下さい)
 1. <後払>請求書により後払い
 2. <代引>代金引換配達希望 (但し、代引手数料は別途申し受けます)

《書籍送料》

地域 \ 冊	1冊	2冊	3冊
関東・中部・信越・ 南東北・北陸	500	700	1,050
関西・北東北	600	800	1,150
中国	700	900	1,250
四国	800	1,000	1,360
北海道・九州	900	1,100	1,480
沖縄	1,300	1,900	1,870

書籍1冊 2,400円 (税込・送料別)
CD-ROM1枚 8,000円 (税込・送料込)

《代引手数料》
 合計額が1万円未満 324円
 合計額が1万円～3万円未満 432円

※3冊以上の場合はお問い合わせください。

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成28年分）

平成29年1月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署		1		1	1	26
小松監督署		(1) 2		(1) 2		6
七尾監督署		1	1	2		8
穴水監督署						
計		(1) 4	1	(1) 5	1	40
前年同期		1		1	1	37

（ ）内は木建工事 内は死亡者数

平成28年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	28年度	27年度	%	28年度	27年度	%	28年度	27年度	%
11月分	285	216	131.9%	2,891	1,757	164.5%	3,176	1,973	161.0%
12月分	404	128	315.6%	2,797	1,449	193.0%	3,201	1,577	203.0%
1月分	364	233	156.2%	1,145	617	185.6%	1,509	850	177.5%
年度累計	4,227	2,723	155.2%	20,529	23,368	87.9%	24,756	26,091	94.9%
26年度累計		3,458	122.2%		18,917	108.5%		22,375	110.6%
25年度累計		1,784	236.9%		18,352	111.9%		20,136	122.9%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	28年度	27年度	%	28年度	27年度	%	28年度	27年度	%
11月分	3,616	3,871	93.4%	192	1,414	13.6%	3,808	5,285	72.1%
12月分	2,577	2,141	120.4%	414	299	138.5%	2,991	2,440	122.6%
1月分	3,325	1,972	168.6%	181	250	72.4%	3,506	2,222	157.8%
年度累計	41,249	34,909	118.2%	10,950	12,956	84.5%	52,199	47,865	109.1%
26年度累計		41,475	99.5%		16,092	68.0%		57,567	90.7%
25年度累計		44,794	92.1%		10,018	109.3%		54,812	95.2%

合 計（民間+官公庁）

	28年度	27年度	%		28年度	27年度	%
11月分	6,984	7,258	96.2%	年度累計	76,955	73,956	104.1%
12月分	6,192	4,017	154.1%	26年度累計		79,942	96.3%
1月分	5,015	3,072	163.2%	25年度累計		74,948	102.7%

■■■ 国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催 ■■■

平成28年度

「私たちの主張 ~ 未来を創造する建設業 ~」応募作

「建設業との出会い」

株式会社 金沢舗道 初崎颯一郎

私は小学生の頃、プールで泳ぐのが好きで夏休みになると毎日、小学校のプールに通っていました。

小学5年生になったある日、学校のプールの周りを大きな重機やダンプが取り囲み、解体工事が始まりました。大好きなプールが取り壊されていく様子を見て、さみしい気持ちになりましたが、解体後には、新しいプールを造るための工事が始まり、どんなプールができるのか楽しみでした。

教室の窓から工事の状況を見ていると、初めは毎日、外仕事で大変そうだなということしか感じられませんでした。次第に工事が進んでプールとしての形ができていくうちに、自然と工事現場や現場で働いている人に目がいくようになり、建設業に興味を持つようになりました。

これがきっかけで高校進学時には、迷わず土木科のある高校へ行くことに決めました。

高校に入学し、土木について勉強していくにつれて、教科書に載っている大きな重機に魅力を感じるようになりました。「こんな大きな重機をどうやって動かすのだろうか」「色々な重機があるが、どういう役割があるのだろうか」など、実際に見たことも触れたこともない重機の写真に興味津々でした。

高校三年生になってから間もなくして、重機に直接触れる機会が訪れました。学校のグラウンドにバックホウが置かれ、学内にて車両系建設機械の特別教育が開催されたのです。バックホウの操作方法をしっかりと習得したいと思い、意気込んで臨みましたが、操作がうまくいかず、あまりの下手さに落胆してしまいました。それと同時に悔しさが込み上げ、もっとテクニックを身に付け、自由自在に操作できるようになりたいと強く感じました。

高校卒業後、入社したかった建設会社に就職して二年目に入りました。今は、重機を操作して作業にあたる機械課に所属し、舗装工事の施工を行っています。配属された当初は、全く何も分からない状態でした。怒られるのは自分の努力不足だと思い、分からないことがあればすぐに先輩方に質問し、また、作業方法をじっくりと見つつ、実際に作業を行うことにより体で覚えるよう心がけました。

その甲斐あってか、まだまだ不十分なところばかりですが、少しずつ仕事ができるようになってきました。重機の操作や作業内容について、先輩方が行っていることを見て盗み、そして知識を増やし、現場へ出る度にレベルアップできるように、一日一日を精一杯頑張っていきたいと思っています。

今まで、自分自身、はっきりと誰かの役に立っているということを感じたことは全くありませんでしたが、建設業界に入って気持ちに変化が生じました。

暑い日も寒い日も、外で仕事をすることによって、県民、市民の皆様が快適に過ごせるように道路や橋梁、下水道などといった社会資本を造っている事に誇りが持てるようになりました。やりがいのある仕事に就くことができ毎日が充実しています。

最後に、素晴らしい建設業との出会いを作ってくれた母校である小学校のプールは、入社した会社が施工していました。プール建設中に、現場近くに掲示されていた工事看板に記載されていた会社名をずっと覚えていたのです。建設業に入るきっかけを与えてくれたプールと会社に感謝しつつ、より良いモノを造るため、一人前のオペレーターを目標に、一生懸命、仕事に励んでいきます。

会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成29年3月行事予定

- 3月 1日(水) 事務局打合せ
厚生年金基金 代議員会
- 2日(木) 建設業税財務講習会
建設産業生産システム合理化会議
- 3日(金) 正副会長会議
北菱電興70周年祝賀会 (ホテル日航金沢)
- 7日(火) 暴力団等対策委員会
石川県建設新技術評価委員会幹事会(石川県庁)
北陸建設青年会議役員会
(新潟 (一社)新潟県建設業協会)
- 8日(水) 警備業協会 専務表敬
北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会
(新潟 アートホテル新潟)
石川県左官業組合連合会 定期総会
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 9日(木) 全建 経営委員会 (東京 東京建設会館)
金沢協会 理事会
- 10日(金) 全建 総合企画委員会 (東京 東京建設会館)
翠星高校生徒との意見交換会 (翠星高校)
廃棄物講習会
- 12日(日) 計理士検定試験 (石川県建設総合センター)
- 13日(月) 石川県共同募金会配分委員会
(石川県社会福祉会館)
- 14日(火) 建設青年委員会全体会議
- 15日(水) 北陸ICT戦略推進委員会
(新潟市 北陸地方整備局)
- 16日(木) 全建 理事会・協議員会 (東京 経団連会館)
建退共 運営委員会 (東京 経団連会館)
JCM セミナーDVD 講習会
(七尾鹿島建設業協会)
建築委員会 環境・住宅部会 研修会
(金沢町家情報館)
金沢市立工業高校 現場見学
(石川県立中央病院)
- 17日(金) 会報編集委員会
建設業福祉共済団 会長会議
(東京 経団連会館)
建設業振興基金 参与会 (東京 経団連会館)
建設業労働災害防止協会 理事会
(東京 経団連会館)
土木委員会正副委員会議
- 21日(火) 石川県景観審議会 (石川県庁)
広報・研修委員会
- 22日(水) 石川県認知症高齢者等地域ネットワーク推進会議
(石川県地場産業振興センター)
- 23日(木) 建退共 事務局長会議 (東京 リビエラ東京)
- 24日(金) 土地改良委員会 全体会議
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
土木委員会役員会
土木委員会舗装部会 (金沢市内)
全建 専務・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)
- 29日(水) 石川県共同募金会 理事会
(石川県社会福祉会館)
- 30日(木) 事務局打合せ
土木委員会 安全対策部会班長会議(後期)
(金沢市内)
自民党県連との懇談会 (金城樓)

平成29年4月以降の行事予定

- 4月 3日(月) 正副会長会議
常任理事会
- 10日(月) 新入社員研修
- 11日(火) 新入社員研修 自衛隊生活体験(～13日)
(金沢駐屯地)
- 24日(月) 東日本建設業保証 取締役会
(東京 浜離宮建設プラザ)
- 26日(水) 全建 理事会
(東京 東京建設会館)
- 5月 2日(火) 正副会長会議
- 17日(水) 建災防 理事会
組合 理事会
協会 理事会
- 25日(木) 東日本建設業保証 取締役会
(東京 浜離宮建設プラザ)
- 29日(月) 建災防 総会
組合 総会
協会 総会
- 30日(火) 全建 理事会・総会 (東京 経団連会館)
- 6月 5日(月) 正副会長会議・常任理事会
- 10日(土) 全国「みどり愛護」のつどい(本多の森ホール)
- 22日(木) 東日本建設業保証 株主総会・取締役会
(東京 浜離宮建設プラザ)
- 23日(金) 全建 理事会 (東京 東京建設会館)
建退共 運営委員会(東京 AP東京八重洲通り)
- 7月 5日(水) 21世紀住まいづくり協議会 総会
(石川県地場産業振興センター)
- 20日(木) 全建 社会貢献活動月間中央行事
(東京 経団連会館)
- 9月 21日(木) 全建 理事会・協議員会
(東京 東京プリンスホテル)
- 28日(木) 東日本建設業保証 取締役会
(東京 浜離宮建設プラザ)
- 10月 17日(火) 北陸地域懇談会 (富山 富山第一ホテル)
- 11月 24日(金) 全建 理事会・会長会議 (東京 経団連会館)
- 12月 14日(木) 全建 理事会・地域懇談会意見交換会等
(東京 経団連会館)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 3月 3日(金) 献血奉仕
- 6日(月) 青：技術防災S
- 9日(木) 理事会
- 10日(金) 青：情報発信S
- 15日(水) 青：技術防災S
正副班長会議
- 17日(金) 青：幹事会
- 27日(月) 入札・契約制度等説明会

《お知らせ》

- 4月10日(月) まちなか協働パトロール出発式

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 3月 8日(水) 建災防加賀分会 安全パトロール
- 22日(水) 足場作業に係る特別教育講習

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 3月 1日(水) 監理技術者講習
- 7日(火) 執行部会、小松市要望書提出
- 14日(火) 理事会
- 19日(日) こまつ水辺クリーンデー
- 28日(火) 足場に係る特別教育

(一社)白山・石川建設業協会

《行事予定》

- 3月 8日(水) 献血活動
- 10日(金) 翠星高校生との意見交換会

《お知らせ》

- 5月12日(金) 定時総会 (クレイン)

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 3月14日(火) 定例役員会

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 3月 1日(水) 監理技術者講習会
- 7日(火) 土木部会役員会
- 24日(金) 理事会
- 下旬 河川堤防等の点検パトロール(土木部会)

《お知らせ》

- 4月26日(水) 監事会
- 27日(木) 理事会
- 5月26日(金) 定時総会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 3月 5日(日) 能登和倉万葉の里マラソン2017
ボランティア活動
- 10日(金) 理事会

《お知らせ》

- 4月 6日(木) 監理技術者講習会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 3月 1日(水) 監理技術者講習
- 15日(水) 石川県立能登産業技術専門校
終了式
- 23日(木) 理事会

総合資格学院は石川県建設業協会と企業提携している
建設系資格スクールです。

会員の皆さまは、当学院の対象講座を**特別価格**で受講することができます！

平成29年度

1級・2級建築施工管理講座
1級・2級土木施工管理講座 **開講！**

→ 受講料・開講日やご質問など下記「金沢校」までお問い合わせください！

願書

取り寄せサービス実施中

- ・2級建築施工管理技士
- ・1級土木施工管理技士
- ・2級土木施工管理技士

日本で最も多くの1級建築士を輩出し続けている学校です。



総合資格学院

学院長 原 隆雄



金沢校

TEL.076-237-6811

〒920-0875 石川県金沢市南町1-181 ALPHICA 2F

www.ahikaku.co.jp

総合資格

検索

www.sogoshikaku.co.jp

Facebook

建設業 総合資格学院

関係機関からのお知らせ

平成29年度土木施工管理技術検定試験の実施について

国土交通大臣指定試験機関 一般財団法人 全国建設研修センター

平成29年度より、2級土木施工管理技術検定（種別「土木」）の学科試験は、これまでの年1回から年2回の実施となり、受験機会が拡大することになりました。

	試験日	申込受付期間	試験地
1級（学科）	7月2日（日）	3月31日（金）	札幌・釧路・青森・仙台・東京・新潟・ 名古屋・大阪・岡山・広島・高松・福岡・ 那覇
1級（実地）	10月1日（日）	4月14日（金）	
2級 （学科・実地） （第1回学科）	10月22日（日）	4月14日（金） 、 4月28日（金）	【種別：土木】 札幌・釧路・青森・仙台・秋田・東京・ 新潟・富山・静岡・名古屋・大阪・松江・ 岡山・広島・高松・高知・福岡・鹿児島・ 那覇 熊本（学科試験のみ） 【種別：鋼構造物塗装・薬液注入】 札幌・東京・大阪・福岡
2級 （第2回学科） （注）	平成30年 2月25日（日）	12月5日（火） 、 平成30年 1月10日（水）	【種別：土木】 札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・ 広島・高松・福岡・那覇

申込みは、簡易書留郵便に限ります。
締切日の消印のあるものまで有効。

上記試験地は、近郊都市も含みます。

申込用紙の種類

1級 2種類 【学科・実地試験】【実地試験のみ】

2級 3種類 【学科・実地試験】【学科試験のみ】【実地試験のみ】

購入の際には、お間違いのないようご注意ください。

「学科試験のみ」の申込用紙は第1回、第2回とも共通です。

申込用紙（購入方法）について

1部 600円

平成29年3月13日（月）より、下記の方法でお求めください。

電話：0570 020 700【注文専用ダイヤル】

インターネット：当センターホームページより

窓口販売：当センター及び各地域づくり協会等

（注）2級（第2回学科）試験の申込用紙は平成29年11月27日（月）からもあらためて販売します。

11月27日からは、窓口販売のみの取り扱いとなりますので、ご注意ください。

試験に関する詳細は次の当センターホームページでご確認ください。<http://www.jctc.jp/>

【ご注意】当センターとよく似た名称を用い、あたかも国家資格につながる業務を扱っている団体であるかのよう
に勧誘し、申込手続きの代行等を行っている業者がありますが、当センターとは全く関係のない業者
です。

当センターは、出先機関や代行機関は一切設置しておりません。申込みは、本人が当センターあてに
直接郵送してください。